－札幌市に年末緊急申し入れ実施！！

「窓口交付」されていた国保短期保険証4，246世帯分が全部送られることになりました

■子ども（18才未満）に保険証が届いていない驚くべき事態

札幌市は、以前から、短期保険証の内「接触が必要な人」には、郵送せずに国保課の窓口に保管（留め置き）してきました。保険証がほしければ相談に来るべきとの姿勢でした。ところがその中に子どもが含まれていることが東区社保協交渉で判明。

市は18才未満の子どもから保険証は取り上げないことを決めています。「親の納付状況と子どもが必要な医療を受けられることは別の問題」だからです。短期証でも手元になければ受診出来ないのです。

札幌市の短期保険証窓口交付の実態
（09年12月28日現在）

	窓口交付世帯	（18才子ども世帯）
中央区	870	42
北区	279	31
東区	517	51
白石	532	56
厚別	187	29
豊平	704	74
清田	103	22
南区	312	46
西区	558	76
手稲	184	38
全市	4，246	465

■子ども（18才未満）には保険証をすぐ渡すことを12月28日市国保課に緊急申し入れていました

道生連は、短期保険証の窓口交付はやめて全員に発送すること、最低でも子どもには、直ちに渡すこと、子どもの世帯を調査することを要請してきました。

12日札幌市木村国保課長から回答があり、『学校がはじまる前に子どもだけではなく全世帯に保険証を送ることを決めました。15日に一斉に送ります。』と前進回答がありました。

◆子どもにすぐ保険証を渡すように申し入れましょう◆

０９年１月現在で８３，１３２世帯に短期保険証が交付されており、窓口交付とされている世帯も少なくないと思いまする。自治体に調査と申し入れましょう。

ふくしの窓

北海道生活と健康を守る会連合会(道生連)

札幌市西区八軒８条東５丁目４－２０

TEL（０１１）７３６－１７２２

ＦＡＸ（０１１）７３６－１６８８

２０１０年1月12日　６４５号